

(4) 「C読むこと」

C読むこと〔小学校低学年〕

【目標】

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

【指導事項】

- ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。
- イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。
- ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
- エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。
- オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。
- カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

【言語活動例】

- ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。
- イ 物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること。
- ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。
- エ 物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。
- オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。

【「読むこと」における児童の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 短い文章の中から「問い」と「答え」を見付ける。
- ◆順序や言葉のつながりを考えながら読む。

【身に付けさせたい力】

- ①書かれている事柄の順序や様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②時間的な順序を考えながら内容の大体を読むこと。 〈「読むこと」イ〉
- ③文の中における主語と述語との関係に注意すること。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)〉

【言語活動例】事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。〈ウ〉

【単元名】すくすく絵巻物を作ろう～時間の順序に気を付けて読む～

【教材名・教材の特長】「まめ」（学校図書 1年下）

- ・豆の生育について、時間の順序を示す言葉を用いて書かれている。
- ・本文を補足する写真が掲載されているので、順序や書かれている内容を確認しながら読むことができる。
- ・生活科等で得た自分の経験や知識と結び付けて、興味を持って読むことができる。

【言語活動】

植物の生育の様子が書かれた本や文章を読み、絵巻物に作り換える。〈ウ〉

【単元目標】

- ①自分の経験や知識と時間的な順序に沿った記述の内容を比べたり結び付けたりしながら植物に関する本を読み、楽しんで絵巻物を作ろうとする。 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②時間の順序を示す言葉に注意して豆の生育の様子を捉える。 〈「読むこと」イ〉
- ③豆の生育の様子について、主語と述語を対応させて読む。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)〉

時	評価規準	評価方法	学習活動
1			<p>植物が種から育つ様子について書かれた絵本や図鑑について紹介を聞き、興味を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆について知っていることを出し合う。 ・「まめ」の範読を聞く。 <p>学習のめあて「〇〇の絵巻物を作ろう」を知り、絵巻物作りに興味を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が作った絵巻物を見て、絵巻物が時間の順序に気を付けて作られていることを知る。 ・野菜や果物、花などの本を、生育の順序を表す言葉に気を付けて並行読書することを知る。(学校図書館や地域との連携)
2			<p>「まめ」を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の後に続いて読んだり、ペアやグループなど形態を変えて読んだり、様々な読み方で音読する。 ・初めて知ったことや驚いたことに線を引き、話し合う。 ・話し合いを通して、更に話し合っていたいことを共通の学習課題として設定する。
3 4 5	<p>②時間の順序を示す言葉に注意して豆の生育の様子を捉えている。</p> <p>〈「読む能力」イ〉</p>	ワークシート	<p>③～⑩段落を読み、豆の生育順序を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1段落ごと書かれている短冊用紙(③～⑩段落の9枚)を、順序を表す言葉や段落のつながりを考えて並べ替える。
6 7	<p>③豆の生育の様子について、主語と述語を対応させて読んでいる。</p> <p>〈言語についての知識・理解・技能イ(カ)〉</p>	ワークシート	<p>8枚の写真を豆の生育順序に並べ替え、ミニ絵巻物を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8枚の写真を豆の生育過程に合わせて並べ、なぜその順序になるのか考える。 ・写真と関係のある段落を対応させる。 ・「何が、どうしたのか」に気を付けて視写する。 ・文中に表現されていないが、写真から気付いたことや分かったことを書き足し、交流する。
8 9 10 11 12	<p>①自分の経験や知識と時間的な順序に沿った記述の内容を比べたり結び付けたりしながら植物に関する本を読み、楽しんで絵巻物を作ろうとしている。</p> <p>〈国語への関心・意欲・態度〉</p>	<p>読書記録 作った絵巻物 感想用紙</p>	<p>「〇〇の絵巻物」を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書記録を基に並行読書してきた図鑑や本を見直し、絵巻物の題材を決める。 ・題材ごとグループを作り、生育の順序を表す言葉に付箋を貼りながら図鑑や本を読む。 ・付箋を貼った言葉を使って絵巻物を作る。 <p>「絵巻物発表会」を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞いた感想を伝え合う。

【Cと評価した児童への手立ての例(上記の評価規準の順)】

- ②生育の順序を理解するために、写真と文章を照らし合わせるよう助言する。〈イ〉
- ③豆の生育の様子について、「〇〇が△△する。」の文型に当てはめて考えるよう助言する。〈イ(カ)〉
- ①興味を持っている植物を聞き出し、本を紹介したり一緒に探したりする。〈国語への関心・意欲・態度〉

C読むこと〔小学校低学年〕

【目標】

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

【指導事項】

- ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。
- イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。
- ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
- エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。
- オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。
- カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

【言語活動例】

- ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。
- イ 物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること。
- ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。
- エ 物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。
- オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。

【「読むこと」における児童の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

○詩や物語の音読に関心が高く、生き生きと読んでいる。

◆場面の様子について想像を広げて読む。

【身に付けさせたい力】

- ①場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 〈「読むこと」ウ〉
- ③かぎ（「 」）の使い方を理解して文章の中で使うこと。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ)〉

【言語活動例】物語を演じること。〈イ〉

【単元名】お気に入りの場面のペープサート劇をしよう～人物の行動や場面について想像を広げて読む～

【教材名・教材の特長】「お手紙」

（光村図書2年下・学校図書2年下・東京書籍2年上・三省堂2年・教育出版1年下）

- ・会話文が多く、がまくん、かえるくんの様子を想像するときに手掛かりとなる。
- ・シリーズ作品が豊富で、シリーズ読書を通して場面の様子をより豊かに想像することができる。

【言語活動】

お気に入りの場面について想像を広げ、ペープサートで演じる。〈イ〉

【単元目標】

- ①シリーズの物語について大好きな作品、お気に入りの場面を見付け、想像を広げながらペープサートで演じようとする。 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読む。 〈「読むこと」ウ〉
- ③会話文にはかぎ（「 」）が使われていることを理解して、お気に入りの場面を視写する。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ)〉

時	評価規準	評価方法	学習活動
1 2			「ふたりはともだち」所収の作品の読み聞かせを聞き、がまくん、かえるくんシリーズの物語に興味を持つ ・面白いところ、好きなところを述べ合う。 学習のめあて「大好きなお話をペープサート劇にしよう」を知る ・教師が作ったペープサート劇を見て、ペープサート劇が自分の想像した登場人物の動きやセリフを付け足して物語を語っていくものであることを理解する。 ・「登場人物・場面設定・事件」等のペープサート劇に必要な要素を確認する。 ・がまくん、かえるくんシリーズについて、大好きな物語やお気に入りの場面を見付けながら並行読書することを知る。(学校図書館や地域との連携)
3 4 5 6 7	②お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んでいく。 〈「読む能力」ウ〉 ③会話文にはかぎ(「 」)が使われていることを理解して、お気に入りの場面を視写している。 〈言語についての知識・理解・技能イ(ウ)〉	ワークシート	「お手紙」のお気に入りの場面を見付けながら読む ・役割読みなどをしながら繰り返し音読し、挿絵も参考にしながら登場人物の様子や物語の展開をつかむ。 ・お気に入りの場面を見付け、登場人物、場面設定、事件等を捉える。 ・なぜそこがお気に入りの場面なのか、場面の様子、登場人物の行動や会話、シリーズの他の作品との関わり、挿絵などを基に話し合う。 ・お気に入りの場面の中で最も好きな部分を、かぎ(「 」)の使い方に注意しながら視写する。 お気に入りの場面をペープサートで演じる ・視写した部分を中心にしたペープサート劇をグループで見せ合い、どのような言葉で場面の様子や登場人物の会話を表現しているか、なぜそのような動きやセリフにしたのか交流する。
8 9 10 11 12	①シリーズの物語について好きな作品、お気に入りの場面を見付け、想像を広げながらペープサートで演じようとしている。 〈国語への関心・意欲・態度〉	読書記録 ワークシート 感想用紙	大好きな物語のお気に入りの場面をペープサートで演じる ・並行読書してきた物語から好きな作品を選び、好きな理由を明らかにしてお気に入りの場面を決める。 ・お気に入りの場面を中心に物語を繰り返し読み、場面の様子や登場人物のセリフなど想像したことをワークシートにまとめる。 「ペープサート劇発表会」を行う ・発表を聞いた感想を伝え合う。

【Cと評価した児童への手立ての例(上記の評価規準の順)】

- ②一緒に音読をしながら、好きな登場人物の行動や会話文に線を引くよう助言する。また、好きな理由を考えさせる。〈ウ〉
- ③一文ごと音読してから視写させ、地の文と会話文を比べ、会話文はかぎ(「 」)でくくられていることに気付かせる。〈イ(ウ)〉
- ①「お手紙」で気に入った登場人物について尋ね、その登場人物の行動や会話を手掛かりに他の作品でもお気に入りの箇所を見付けさせる。セリフを一つ増やしてみるよう励ます。〈国語への関心・意欲・態度〉

C読むこと〔小学校中学年〕

【目標】

目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

【指導事項】

- ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。
イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。
ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。
エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。
オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。
カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。

【言語活動例】

- ア 物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。
イ 記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。
ウ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと。
エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。
オ 必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。

【「読むこと」における児童の実態】 ○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 「始め、中、終わり」の文章構成や「問いと答え」の構成を意識しながら読む。
- 文章の大体の意味を、小見出し等で表したり、要約したりしながら読む。
- ◆接続語の役割を意識し、事実と意見との関係を考えながら読む。

【身に付けさせたい力】

- ①目的に応じ、段落相互の関係を考えながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。 (国語への関心・意欲・態度)
- ②目的に応じて、段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。 (「読むこと」イ)
- ③接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解すること。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(り))

【言語活動例】 記録や報告の文章を読んで、利用する。〈イ〉

【単元名】 説明するために読もう～構成や、事実と意見の関係を考えながら読む～

【教材名・教材の特長】 「むささびのひみつ」「あめんぼはにん者か」(学校図書 4年上)

- ・問題を解決していく論理の展開に共通点があり、比較しながら読むことで、文章構成や表現の工夫など、「文章の書き方の工夫」を理解することができる。
- ・文章全体が「始め・中・終わり」で構成され、「始め・中」が問題解決部分、「終わり」が筆者の意見というように、意見に説得力を持たせるための構成を理解できる。
- ・接続語や文末表現が、内容を整理しながら読む上で、効果的に使われている。

【言語活動】

意見文を読み、構成等を参考にしながら自分の意見を説明する。〈イ〉

【単元目標】

- ①二つの意見文の文章構成を参考にしながら、自分の意見を説明しようとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- ②効果的な意見の伝え方を理解するために、段落相互の関係や、事実と筆者の意見との関係を考えながら読む。 (「読むこと」イ)
- ③接続語が、文や段落相互の意味のつながりに果たす役割を理解する。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(り))

時	評価規準	評価方法	学習活動															
1			<p>学習のめあてを理解し、フリップを使って説明する見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間で持った自分の意見を思い出す。 教師の演示から、「実験」「実験結果」等のまとまりをフリップに整理し、自分の意見を効果的に伝えることを理解する。 															
2	<p>②効果的な意見の伝え方を理解するために、段落相互の関係や、事実と筆者の意見との関係を考えながら読んでいる。</p> <p>〈「読む能力」イ〉</p> <p>③接続語が、文や段落相互の意味のつながりに果たす役割を理解している。</p> <p>〈言語についての知識・理解・技能イ(リ)〉</p>	ワークシート1	<p>A「むささびのひみつ」を読み、効果的な文章構成について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続語に着目しながら、全体を「始め・中・終わり」、「中」を意味段落に分け、文章の構成を理解する。 意味段落ごとに内容の中心をまとめ、小見出しを付け、整理する。 <p>【各意味段落を整理するワークシート】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>終わり</td> <td>中②</td> <td colspan="2">中①</td> <td>始め</td> </tr> <tr> <td>筆者の意見</td> <td>実験と意見を つなぐ説明</td> <td>実験結果</td> <td>実験方法</td> <td>課題提示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 事実（中①）と筆者の意見（終わり）をつなぐために、つなぐ段落（中②）の役割を理解する。 写真や図が効果的に使われていることを理解する。 <p>Aでの読み方を使って、B「あめんぼは忍者か」の効果的な文章構成について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> Aと比べながら、文章の構成の仕方についての共通点を見付ける。 二つの教材文の構成の仕方のよさについて、話し合う。 	終わり	中②	中①		始め	筆者の意見	実験と意見を つなぐ説明	実験結果	実験方法	課題提示					
終わり		中②	中①		始め													
筆者の意見		実験と意見を つなぐ説明	実験結果	実験方法	課題提示													
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9	<p>①二つの意見文の文章構成を参考にしながら、自分の意見を説明しようとしている。</p> <p>〈国語への関心・意欲・態度〉</p>	ワークシート2	<p>二つの教材文の書き方に即して文章を構成し、5枚のフリップを使って自分の意見を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材文の内容や構成に即して、総合的な学習での内容を付箋に書いていく。付箋を整理しながら、構成メモを作る。 構成メモを基にして、接続語を使いながら、説明原稿を作成する。 説明原稿に照らし合わせて、フリップに図や言葉を書き入れる。 互いに説明し合いながら、構成の仕方と接続後の使い方について確認する。 <p>※総合的な学習の時間等において説明する。（総合的な学習の時間との連携）</p> <p>フリップを使って説明したことについて振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的に意見を伝える文章構成や接続語の効果について、話し合う。 															
10		構想メモ																
11		フリップ																
12		原稿																
		振り返りカード																

【Cと評価した児童への手立ての例（上記の評価規準の順）】

- ②文章中の写真と中心となる語句等を示しながら、段落同士の関係に気付かせる。〈イ〉
- ③接続語の意味や役割を、簡単な例文を用いて理解させる。〈イ(リ)〉
- ①意見として伝えたいことを付箋に書き出させ、ワークシート上で整理させる。〈国語への関心・意欲・態度〉

C読むこと〔小学校高学年〕

【目標】

目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

【指導事項】

- ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。
イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたんにすること。
エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。
カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

【言語活動例】

- ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること。
イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。
ウ 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。
エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。

【「読むこと」における児童の実態】 ○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 自分の思いなどが伝わるように音読や朗読をする。
◆登場人物の関係や心情、場面についての描写に着目して読む。
◆自分の読みの立場を明らかにしたり、自分の考えをまとめたり広げたりする。

【身に付けさせたい力】

- ①目的に応じ、内容をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。 〈国語への関心・意欲・態度〉
②登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえる。 〈「読むこと」エ〉
③^ゆ比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ケ)〉

【言語活動例】自分の生き方について考えること。〈ア〉

【単元名】自分の生き方について考えたことをまとめよう～心情・場面についての描写を捉える～

【教材名・教材の特長】「海の命」（光村図書 6年）

- ・登場人物の関係や心情が捉えやすく、特に主人公の心情の変化を叙述を基に読み取ることに適している。
- ・登場人物の考え方を通して自分の生き方を見つめることに適している。

【言語活動】

「海の命」を読んで、自分の生き方について考えたことをまとめる。〈ア〉

【単元目標】

- ①主人公太一の生き方を捉えながら読むことで、自分の生き方について考えようとする。 〈国語への関心・意欲・態度〉
②主人公太一を中心に登場人物の心情や場面についての描写を捉える。 〈「読むこと」エ〉
③比喩表現の工夫に気付く。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ケ)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1 2 3			<p>これまで読んだ物語の中で自分の経験と関連させて考えを持った学習を思い出す</p> <p>学習のめあて「太一的心情を読み取りながら、自分自身の生き方について考えてみよう」を知ることで見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後に太一と自分とを比べてみて思ったことや考えたことをワークシートに書いて、学級の冊子にすることを告げる。 ・「海の命」を読む。 ・比喩が多用されていることに気付く。 ・主人公太一の言動で気になったところに線を引いたり、ワークシートにメモをしたりしておく。
4 5 6 7	<p>②主人公太一を中心に登場人物の心情や場面についての描写を捉えている。</p> <p>〈「読む能力」エ〉</p> <p>③比喩表現の工夫に気付いている。</p> <p>〈言語についての知識・理解・技能イ(ハ)〉</p>	ワークシート	<p>人物像や登場人物の相互関係を読み取り、太一の成長を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言葉・様子・行動や場面の様子を表す叙述に着目する。 ・比喩表現の工夫に気付く、意味・内容を理解する。 ・おとうと与吉じいさの生き方の違いを理解する。 ・おとうの姿や死、与吉じいさとの出会いと別れを通して、太一はどう変わったのか、太一の生き方やものの見方、考え方についてまとめる。
8 9 10	<p>①主人公太一の生き方を捉えながら読むことで、自分の生き方について考えようとしている。</p> <p>〈国語への関心・意欲・態度〉</p>	ワークシート	<p>主人公太一の生き方から、自分の生き方を見つめ、考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に線を引いたり、メモをしたりした中から、最も印象に残った箇所を書き出す。 ・選んだ箇所について、分かったことや感じたこと、考えたことを書き加える。 ・太一の生き方と今の自分とを比較して、感じたことをまとめる。
		振り返りカード	<p>冊子（学級全員のワークシートを印刷したもの）を読み、交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を述べたり、質問をしたりして自分の考えを深める。

【Cと評価した児童への手立ての例（上記の評価規準の順）】

②太一の言動部分に線を引かせ、人物関係図に書き込ませる。〈エ〉

③比喩表現が表す様子を想像させる。〈イ(ハ)〉

①太一の生き方や考え方について意見を持った箇所について、自分ならどうするか表現させる。

〈国語への関心・意欲・態度〉

C 読むこと [中学校第1学年]

【目標】

目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

【指導事項】

ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。
イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。
ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。
エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。
オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。
カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。

【言語活動例】

ア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。
イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。
ウ 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること。

【「読むこと」における生徒の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

○文章中の事実と意見などを読み分ける。

◆文章に書かれているものの見方や考え方をとらえたり、自分と照らし合わせたりする。

【身に付けさせたい力】

①目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。
〈国語への関心・意欲・態度〉

②文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。
〈「読むこと」オ〉

③語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。
〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)〉

【言語活動例】課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること。〈ウ〉

【単元名】職人の心に響く言葉や参考となる生き方をブックカード風に紹介しよう ～自分のものの見方や考え方を広げる～

【教材名・教材の特長】「ものづくりに生きる」(学校図書 1年)

- ・仕事が違う二人の職人の生き方や考え方に触れることができる。
- ・キャリア教育の視点としての読み物として適切である。

【言語活動】

様々な本や資料から自分の心に響く職人の言葉や参考となる考え方を見付け、ブックカード風に書く。〈ウ〉

【単元目標】

①自分の生き方に参考になる職人のものの見方や考え方を見付け、ブックカード風に書こうとする。
〈国語への関心・意欲・態度〉

②文章に書かれている職人としてのものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げる。
〈「読むこと」オ〉

③「ピシッと」「ユニーク」など語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。
〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)〉

時	評価規準	評価方法	学習活動
1			職人の心に響く言葉や参考となる生き方をブックカード風に紹介することへの見通しを持つ <ul style="list-style-type: none"> ルポルタージュであることを理解し、二人の職人としての生き方について読むことを確認する。 職人について書かれた本や雑誌などを紹介し、並行読書をしていくことを確認する。 (並行読書用の本や雑誌については、学校図書館のものだけでなく、公立図書館と連携し、学校貸し出しの本等を利用しながら準備しておく。) 興味を持った職人のものの見方や考え方を皆にブックカードで紹介することを知る。 ブックカードの特徴等を資料を参考に理解する。
2 3	③「ピシッと」「ユニーク」など語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意している。 (言語についての知識・理解・技能イ(イ)) ②文章に書かれている職人としてのものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げている。 (「読む能力」オ)	ワークシート (ブックカード)	小林英夫さんと鈴木良二さんのどちらかを選び、心に響く生き方を紹介する <ul style="list-style-type: none"> 二人のうち一人の職人のものの見方や考え方を紹介することを知り、「ものづくりで生きる」を通読する。 捉えにくい語などを確認する。 選んだ職人についてワークシートに書かれたブックカードの枠にブックカードの参考資料を活用し、紹介文を書く。 引用部分は、かぎ(「 」)でくくることを理解する。 グループで見せ合い、仕事に対する考え方や職人としての生き方における共通点や仕事内容の相違点、疑問点などを見付け、ワークシートにメモしておく。
4 5 6	②文章に書かれている職人としてのものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げている。 (「読む能力」オ) ①自分の生き方に参考になる職人のものの見方や考え方を見付け、ブックカード風に書こうとしている。 (国語への関心・意欲・態度)	ブックカード	自分が興味・関心を抱いた職人について、仕事に対する考え方や職人としての生き方などを盛り込み、ブックカード風に紹介をする <ul style="list-style-type: none"> 並行読書してきた本や雑誌などから興味・関心を抱いた職人についてブックカード風に紹介する。その際、リード文やキャッチコピーを入れることや引用は、かぎ(「 」)でくくることを確認する。 グループで交流をする。 読んだカードの裏に一言感想を書く。 カードの裏の自己評価欄に様々な職人の生き方を通して、自分のものの見方や考え方がどのように広がったかなどを記入する。

【Cと評価した生徒への手立ての例(上記の評価規準の順)】

- ③「私はピシッと面を一本とられた思いだった。」について、一緒に辞書を引き「ピシッと」の意味を確認し、本文ではどのような意味になるのか説明をする。(イ(イ))
- ②職人について読みやすく書かれた文章を取り上げ、読み聞かせをし、「いいな」と感じたところなどを挙げてみようと言助する。(オ)
- ①「いいな」と感じたところなどを、かぎ(「 」)を使いながら取り上げてみようと言助する。また、ブックカードの参考資料を見せることで、カードの書き方をイメージさせる。

(国語への関心・意欲・態度)

C読むこと〔中学校第1学年〕

※後頁（「読書感想文を書こう」）の単元に引き続く

【目標】

目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

【指導事項】

- ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。
 イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。
 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。
 エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。
 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。
 カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読みとること。

【言語活動例】※(中)第2学年を使用

- ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。
 イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。
 ウ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

【「読むこと」における生徒の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 登場人物の言動や情景などの描写を捉えながら、心情を想像する。
 ◆登場人物の言動等が意味することについて、自分の考えをまとめる。

【身に付けさせたい力】

- ①目的や意図に応じ、文章を読み、内容を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 〈国語への関心・意欲・態度〉
 ②場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。 〈「読むこと」ウ〉
 ③比喩などの表現の技法について理解すること。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ)〉

【言語活動例】物語を読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。〈中学2年 ア〉**【単元名】**考えたことを交流しよう～登場人物の描写や場面の展開に注意して読む～**【教材名・教材の特長】**「少年の日の思い出」（光村図書・学校図書・教育出版・三省堂 1年）

- ・登場人物の言動、語り手の言葉、情景描写などの様々な描写から、登場人物の心情やものの見方を想像することができる。
- ・前半と後半の場面を関連させて読むことで、登場人物の心情や場面の様子を想像することができる。
- ・登場人物の言動について、読み手が様々な疑問を持つことができる。

【言語活動】

物語を読み、内容や表現の仕方について考えたことを交流する。〈中学2年 ア〉

【単元目標】

- ①作品を読み、疑問に思ったり考えたりしたことを交流しようとする。〈国語への関心・意欲・態度〉
 ②登場人物の言動や場面の展開に注意しながら、人物の心情やものの見方を想像する。〈「読むこと」ウ〉
 ③比喩などの表現技法や情景描写が表す意味や効果について理解する。
 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1			<p>「少年の日の思い出」を読んで考えたことを交流する見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに読んだ作品についての感想を話したり，教師が読んだ作品について考えたことを聞いたりして，学習のめあて「疑問に思ったり考えたりしたことを交流しよう」を理解する。 ・これまでの文学作品の読み方を振り返り，場面の展開や登場人物の言動，^ゆ比喩等の表現技法や情景描写等を視点にしながらか本作品を読んでいくことを理解する。 ・「少年の日の思い出」を音読する。
2 3 4	<p>②登場人物の言動や場面の展開に注意しながら，人物の心情やものの見方を想像している。</p> <p>〈「読む能力」ウ〉</p> <p>③^ゆ比喩などの表現技法や情景描写などの表す意味や効果について理解している。</p> <p>〈言語についてへの知識・理解・技能イ(ウ)〉</p>	<p>ノート</p> <p>考えカード</p>	<p>『ぼく(客)』について疑問に思ったことや考えたことを見付けよう」という課題を持ちながら作品を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前後半の場面展開，語り手や登場人物，表現技法，情景描写等について，全体で確認する。 ・各自が，第1時で確認した視点に着目しながら「ぼく(客)」の言動について疑問に思ったことや考えたことを書く。 ・理由を付けながら各自の疑問を出し合い，作品の内容理解につながるものを明確にしていく。 ・全体での話し合いを基に，自分が解決していく疑問と，疑問を解決するために重点的に読む箇所を決定する。 <p>自分の疑問に即して作品全体を繰り返し読み，考えたことを「考えカード」(A5用紙の半分程度)にまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点的に読んだ箇所について考えたことを，本文の表現を引用しながら「考えカード」に書いていく。 ・同じ疑問を持つ生徒同士や，別の疑問を持つ者同士でグループを組み，考えたことを交流する。 ・グループで話題になったことの中から，共通に話し合える内容について，全体の場で考えを深める。 ・話し合いを基に，各自が「考えカード」の修正や補足をする。
5 6	<p>①作品を読み，疑問に思ったり考えたりしたことを交流しようとしている。</p> <p>〈国語への関心・意欲・態度〉</p>	<p>ワークシート</p> <p>振り返りカード</p>	<p>交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流に向けて，ワークシートに「考えカード」を並べながら，自分の考えを整理する。 ・疑問について考えたことを，グループや全体の場で紹介し合う。 <p>自分の読みについて振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点に基づいた読み方であったか，確認する。

【Cと評価した生徒への手立ての例(上記の評価規準の順)】

- ②例をいくつか示したり友達と対話をさせたりすることで，自分と共通する疑問を選ばせる〈ウ〉
- ③これまでに学習した教材と比較させながら，表現の工夫や効果について想起させる。〈イ(ウ)〉
- ①書いた文章を読んだり，見せたりすることで交流させる。〈国語への関心・意欲・態度〉

B書くこと〔中学校第1学年〕 ※前頁（「考えたことを交流しよう」）の単元を引き継ぐ

【目標】

目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えた**的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。**〈「書くこと」〉

【指導事項】

- ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。
- イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。
- ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
- エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。
- オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。

【言語活動例】

- ア 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。
- イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。
- ウ 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。

【「書くこと」における生徒の実態】 ○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えながら文章を構成する。
- ◆集めた材料を取捨選択するなどして整理し、段落の役割を考えながら文章を構成する。

【身に付けさせたい力】

- ①目的や意図に応じ、的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。 〈「書くこと」イ〉
- ③指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(エ)〉

【言語活動例】 関心のある作品について、鑑賞したことを文章に書くこと。〈ア〉

【単元名】 読書感想文を書こう～考えを整理し、段落の役割を考えて構成する～

【教材名・教材の特長】 「少年の日の思い出」（光村図書・学校図書・教育出版・三省堂 1年）

- ・「読むこと」の学習で持った感想を材料にして、「書くこと」の学習を続けて行うことができる。

【言語活動】

作品から考えたことを基に、読書感想文を書く。〈ア〉

【単元目標】

- ①作品を読み、疑問に感じたり考えたりしたことを基に、読書感想文を書こうとする。 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②考えたことを分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成する。 〈「書くこと」イ〉
- ③指示語や接続詞及びこれらと同じような働きを持つ語句などを使う。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(エ)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1 2 3	<p>②考えたことを分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成している。 〈「書く能力」イ〉</p> <p>③指示語や接続詞及びこれらと同じような働きを持つ語句などを使っている。 〈言語についての知識・理解・技能イ(エ)〉</p>	構成ワークシート	<p>自分の好きな本の読書感想文を書くことへの見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「少年の日の思い出」の読書感想文を書き、その書き方や手順を参考にしながら好きな本の読書感想文を書くことを理解する。 ・これまで読んだ本の中から、読書感想文を書くものを選ぶ。 <p>「少年の日の思い出」の読書感想文を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを読み返し、自分のものの見方や経験からの感想を「感想カード」に書く。 ・関連性のある内容ごとにまとまりを作り、段落を構成する。 <p>※効果的な段落の順序を考え、構成ワークシート（「始め・中・終わり」）上で「考えカード」「感想カード」を並び替える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>構成の例</p> <p>「始め」自分の疑問と、その結論や解釈</p> <p>「中」結論に導くための理由や解釈</p> <p>「終わり」自分のものの見方や経験からの感想</p> <p>※必要に応じて、作品の表現を引用する</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・不足している内容があれば書き加え、補足する。 ・構成ワークシートを基に交流し、構成の仕方について助言し合う。 ・600～800字程度の文章にまとめる。 <p>※段落相互の関係等を意識し、「語句リスト」を参考にして、効果的な指示語や接続詞等を選んで使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を推敲し、清書する。
4 5	<p>①作品を読み、疑問に感じたり考えたりしたことを基に、読書感想文を書こうとしている。 〈国語への関心・意欲・態度〉</p>	読書感想文付箋 振り返りカード	<p>「少年の日の思い出」の読書感想文の書き方や手順を基に、自分が選んだ本の読書感想文を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その本を選んだ理由を確認し、考えたことや感想を「考えカード」「感想カード」に書く。 ・構成ワークシート上でカードを整理し、選んだ本の読書感想文を書く。 ・書いた文章を推敲し、清書する。 <ul style="list-style-type: none"> ・読書感想文を互いに読み合い、構成や接続詞等の使い方についての意見を付箋に書き、評価し合う。 <p>読書感想文の書き方について振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落構成の仕方、接続詞等の使い方を視点にして、成果と課題を明確にする。

【Cと評価した生徒への手立ての例（上記の評価規準の順）】

- ②中心となる考えを決めさせ、考えを説明する理由を三つ程度に絞らせる。〈イ〉
- ③それぞれの接続詞の役割が書かれている一覧を示し、適したものを選択させる。〈イ(エ)〉
- ①教師が作成したモデル文書を見せ、参考にさせながら書かせる。〈国語への関心・意欲・態度〉

C読むこと〔中学校第2学年〕

【目標】

目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

【指導事項】

- ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。
- イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。
- ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。
- エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。
- オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。

【言語活動例】

- ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。
- イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現について自分の考えを述べること。
- ウ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

【「読むこと」における生徒の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 場面の展開に即して登場人物の心情を読む。
- 「話すこと・聞くこと」の学習において討論を経験している。
- ◆表現の仕方や登場人物の言動を物語全体と関連付けて読む。

【身に付けさせたい力】

- ①目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。〈「読むこと」ウ〉
- ③抽象的な概念を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)〉

【言語活動例】物語を読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。〈ア〉

【単元名】「走れメロス」で討論をしよう～表現の仕方や登場人物の言動に着目して自分の考えを持つ～

【教材名・教材の特長】「走れメロス」(光村図書・学校図書・教育出版・三省堂・東京書籍 2年)

- ・物語の展開が分かりやすい。また、王とメロスのように人物像が対比的にしかも極端に描かれているため、生徒はその言動に賛否を述べやすい。
- ・漢語や比喻表現など特徴的な表現が多く用いられており、登場人物の言動について自分の考えを持つときの手掛かりとすることができる。

【言語活動】

表現の仕方や登場人物の言動などについて関心を持ったことをテーマに討論をする。〈ア〉

【単元目標】

- ①物語について自分の考えを持ち、討論を通して考えを深めようとする。〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②物語の展開を踏まえた上で、登場人物の言動の意味や表現の仕方について、根拠となる部分を挙げて自分の考えを持つ。〈「読むこと」ウ〉
- ③漢語や比喻表現などの多様な語句に注意して読む。〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1 2			<p>学習のめあて『『走れメロス』で討論をしよう』を知り、学習の見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「少年の日の思い出」「トロッコ」など、前学年も含めこれまでに学習した物語の読み方を振り返り、表現の仕方と登場人物の言動の両面に注意して読んでいくことを確かめる。 ・「走れメロス」の範読を聞き、物語の展開を踏まえた上で、表現の仕方や最も興味を抱いた登場人物の言動など印象に残ったところを挙げる。それらを基に、感想や疑問、話し合ってみたいことなどを書き、共有する。 ・場所やメロスの心情に着目して、全体を六つの場面（町・王城・故郷の村・山の中・山から町・刑場）に分け、主な出来事や時間の流れをワークシートにまとめる。 ・王城までの場面で、メロスと王の人物像の違いを捉える。
3 4 5 6	<p>③漢語や比喻表現などの多様な語句に注意して読んでいる。 〈言語についての知識・理解・技能イ(4)〉</p> <p>②物語の展開を踏まえた上で、登場人物の言動の意味や表現の仕方について、根拠となる部分を挙げて自分の考えを持っている。 〈「読む能力」ウ〉</p> <p>①物語について自分の考えを持ち、討論を通して考えを深めようとしている。 〈国語への関心・意欲・態度〉</p>	<p>ワークシート (学習の流れが分かるようなもの)</p>	<p>話し合いのテーマを設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信実」「希望」「信頼」「正義」「悪心」「孤独」などキーワードを取り上げ、そのように考えた理由と併せて共有する。 ・同じキーワードを選んだ人とグループを組む。「信実の物語」のように、キーワードを基に物語を言い表すテーマを仮に設定し、その根拠となる表現を探していくことを理解する。 <p>テーマについてグループで意見を交流し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる表現に線を引き、関係する段落を線で結ぶなどしながら、仮に設定したテーマは妥当かどうか立場をはっきりさせて自分の考えをまとめる。 ・根拠となる表現を示し、設定したテーマが妥当であるかメモを取りながらグループで話し合う。 <p>※必要に応じて話し合いの中途段階を学級全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して、グループとしてテーマを修正・再考する。 <p>学級全体で討論する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの話し合いの過程を学級全体に報告する。 ・報告を聞き、自分のグループと共通する点や違う考えを持った点などについて討論する。 ・話し合いや討論を基にして、テーマを各自修正・再考するとともに考えをまとめる。 <p>(ワークシートを掲示したり印刷して冊子にまとめたりし、授業後にも交流できるようにする。)</p>

【Cと評価した生徒への手立ての例（上記の評価規準の順）】

- ③繰り返し出てくる言葉を挙げさせ、それらの中から一番印象に残ったものについて文脈上の意味や印象に残った理由を明らかにする。〈イ(4)〉
- ②描写や登場人物の言動を具体的に示し、どう感じたか考えを述べさせる。また、他の場面に同じように感じられる表現はないか一緒に探す。そして、それらが設定した仮のテーマにつながるかどうか考えさせる。
〈ウ〉
- ①話し合いや討論を通して自分の考えが変わったことについて書かせる。〈国語への関心・意欲・態度〉

C読むこと [中学校第3学年]

【目標】

目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

【指導事項】

- ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。
- イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
- ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
- エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。
- オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。

【言語活動例】

- ア 物語や小説などを読んで批評すること。
- イ 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。
- ウ 自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えること。

【「読むこと」における生徒の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。
- ◆文章に表れているものの見方や考え方について知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ。

【身に付けさせたい力】

- ①目的や意図に応じて読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。 (国語への関心・意欲・態度)
- ②文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。 (「読むこと」エ)
- ③四字熟語・漢語に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ))

【言語活動例】論説などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。〈イ〉

【単元名】論説の内容を比較しよう～自然について考え、自分の意見を持つ～

【教材名・教材の特長】「武蔵野の風景」(学校図書 3年)

- ・自然に対する固定観念を破ることから人間と自然の関係の本質に迫ろうとする優れた文章である。
- ・随想と評論の中間に位置する文体で、四字熟語や漢語が多用される本格的な評論文への移行期の教材として好適である。

【言語活動】

既習の説明文と内容を比較し、自分の自然に対する考えを深める。〈イ〉

【単元目標】

- ①目的や意図に応じて読む能力を身に付け、読書を通して自己を向上させようとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- ②文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つ。 (「読むこと」エ)
- ③四字熟語や漢語の意味に注意して読む。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ))

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1			<p>「武蔵野の風景」を通読し、既習の説明文と内容を比較することについての見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学習した「変わる動物園」を再読し、内容を想起する。 ・「武蔵野の風景」を音読し、「変わる動物園」との違いについて感想を述べ合う。 ・筆者の意見を理解しながら、自分の考えを深めることができるという可能性に気付く。 ・自分にとっての難意語を拾い出し、辞書で意味・用法を調べる。 ・全体を五つの意味段落に分ける。
2	③四字熟語や漢語の意味に	ノート	<p>筆者の原風景である武蔵野の自然について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大変な驚き」の内容を読み取り、発表し合う。 ・「水稻ができないということに終わらない」に示されたもう一つの問題を読み取り、発表し合う。 <p>原生的な自然、二次的な自然、自然破壊の違いを読み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい問題提起」の内容を読み取り、発表し合う。 ・「原生的な自然」と「二次的な自然(改良された自然)」の違いを読み取り、発表し合う。 ・「二次的な自然」と「自然破壊」の違いについて読み取り、発表し合う。 <p>河川改修の歴史と改修主体について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「それは単に改修主体が変わったことに終わらなかった」の内容を読み深め、明治以前と以後の河川改修について、共通点と相違点をまとめ、発表し合う。 ・「労働の系、労働の形に合わせた川」の意味を読み取り、発表し合う。 <p>武蔵野の二次的な自然環境について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然の循環と農民の暮らしや労働の循環との調和」の内容を読み取り、発表し合う。 <p>二次的な自然の成立条件について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この二つの要素」の内容を読み取り、発表し合う。
3	注意して読んでいます。		
4	〈言語についての知識・理解・技能イ(イ)〉		
5	②文章を読んで人間、社会、		
6	自然などについて考え、自分の意見を持っている。		
	〈「読む能力」エ〉		
7	①目的や意図に応じて読む能力を身に付け、読書を通して自己を向上させようとしている。	ワークシート ワークシート	<p>筆者の考えを踏まえて、自然に対する自分の考えをまとめる</p> <p>既習の説明文と内容を比較し、内容の共通点と違いについて考え、自分の自然観を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人程度のグループを作り、「新しい動物園」と「武蔵野の風景」における自然の捉え方の共通点と違いについて話し合う。 ・話し合いから気付いたことなどをワークシートに書き加える。 ・ワークシートを冊子にして回覧し、内容を全体で共有する。

【Cと評価した生徒への手立ての例（上記の評価規準の順）】

- ③机間指導で、辞書の活用について個別にアドバイスする。〈イ(イ)〉
- ②キーセンテンスとそれを補強する材料について、傍線を引く、四角で囲む、結び付ける等の視覚的な板書、指示により、内容の理解に導く。〈エ〉
- ①二つの文章の共通点と違いをキーワードで示し、読み深めを促す。〈国語への関心・意欲・態度〉

C読むこと〔高等学校 国語総合〕

【目標（国語総合）】

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

【指導事項】

- ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
- イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や叙述をしたりすること。
- ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
- エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。
- オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

【言語活動例】

- ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。
- イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。
- ウ 現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し、自分の考えを持って話し合うこと。
- エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評したりする文章を書いたりすること。

【「読むこと」における生徒の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

○文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。

◆文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。

【身に付けさせたい力】

①国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

〈国語への関心・意欲・態度〉

②文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〈「読むこと」ウ〉

③国語における表現の特色及び言語の役割などを理解すること。

〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)〉

【言語活動例】内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評したりする文章を書いたりすること。〈エ〉

【単元名】物語の結末を批評しよう～表現に即して読み味わう～

【教材名・教材の特長】「羅生門」芥川龍之介

- ・小説「羅生門」は、国語総合教科書のほとんどに採録されている。
- ・起承転結の構成が明確で、極限状況下で揺れ動く主人公の心理が巧みに描写されている。

【言語活動】

「下人の行方は、だれも知らない」とされた結末部分について、表現上の効果を批評し、「下人」の行く末について、自分なりの考えを文章で表現する。〈エ〉

【単元目標】

①文学的な文章を的確に読み深め、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深めようとする。 〈国語への関心・意欲・態度〉

②「羅生門」に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 〈「読むこと」ウ〉

③「羅生門」における表現の特色や効果を理解する。〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1			<p>作品全体のイメージを把握し、初発の感想を述べ合い、読み深めの方向を見通す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語便覧等を参照しながら、教師の説明を聞き、芥川龍之介と小説「羅生門」について、文学史的背景を知る。 ・CD等により優れた朗読を鑑賞した後、グループによる音読、ペアによる音読を繰り返し、作品全体のイメージを把握する。 ・グループを作り、結末に留意して初発の感想、疑問点等を話し合う。
2 3 4 5 6	<p>②「羅生門」に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。〈「読む能力」ウ〉</p> <p>③「羅生門」における表現の特色や効果を理解している。 〈言語についての知識・理解イ(ア)〉</p>	ノート	<p>フィクションを読む前提としての作品設定を読み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を、内容により4段落に分ける。 ・作品の背景(時代背景、社会情勢、都と人心の状況)を叙述に即して読み取り、発表し合い、ノートに記録する。 ・場面の状況(場所、時刻、羅生門の実態、下人の境遇)を叙述に即して読み取り、発表し合い、ノートに記録する。 <p>下人・老婆の心情の変化、論理の展開を読み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老婆の行為を目撃した下人の心理の動き(恐怖と好奇心→激しい憎悪→悪に対する反感・悪を憎む心)を、叙述に即して読み取り、発表し合い、ノートに記録する。 ・老婆と対峙し、圧倒した下人の心理の動き(憎悪→得意と満足)を叙述に即して読み取り、発表し合い、ノートに記録する。 ・老婆の論理の展開(極限状況における悪の正当化・価値の相対化)について、叙述に即して読み取り、発表し合い、ノートに記録する。 ・老婆の論理に対する下人の評価について、「ある勇氣」の内容を推量しながら、叙述に即して読み取り、発表し合い、ノートに記録する。 ・引剥<small>ひはぎ</small>を実行するに至る下人の決断について、叙述に即して読み取り、発表し合い、ノートに記録する。
7	<p>①文学的な文章を的確に読み深め、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深めようとしている。 〈国語への関心・意欲・態度〉</p>	ワークシート	<p>結末の表現について批評する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初出時は、結末が「下人は、既に、雨を冒して、京都の町へ強盗を働きに急ぎつゝあつた」であったことを教師から聞き、書き換えの効果について、下人の行く末を想像しながらワークシートにまとめる。 ・各自が作成したワークシートは、冊子にして回覧する旨、説明する。

【Cと評価した生徒への手立ての例(上記の評価規準の順)】

- ②ノートの内容と本文を照らしながら振り返り、人物、心情、情景等を再確認させる。〈ウ〉
- ③ノートの内容と本文を照らしながら振り返り、表現の特色や効果を再確認させる。〈イ(ア)〉
- ①書き出せない生徒には、箇条書きのメモ作成から始めるよう指示する。〈国語への関心・意欲・態度〉